

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神戸薬科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウベヤッカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	薬学部
	担当教職員名・役職	学生就職部長 北川裕之教授学生就職委員 濱口常男教授学生就職委員 田内義彦教授学生就職委員 小西守周教授学生就職委員 山野由美子准教授学生就職委員 玉巻欣子准教授学生就職委員 池田宏二准教授学生就職課長 三木宏之
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	43
	受入企業等数	29
受入企業等名	あすか製薬株式会社 共和薬品工業株式会社 劑盛堂薬品株式会社 千寿製薬株式会社 田村薬品工業株式会社 帝人株式会社 富田製薬株式会社 ニプロファーマ株式会社 昭和化工株式会社 株式会社伏見製薬所 ナカライテスク株式会社 エイゾーヘルスケア株式会社 神戸天然物化学株式会社 アルフレッサ株式会社 株式会社ケーエスケー 株式会社サンキ 東邦ホールディングス株式会社 株式会社アカカベ イオンリテール株式会社 ウエルシア薬局株式会社 (有)かんまき薬局グループABC薬局 株式会社キリン堂 株式会社コクミン 株式会社ココカラファイン サンドラッググループ 株式会社スギ薬局 株式会社スパーテル 日本調剤株式会社 株式会社マツモトキヨシホールディングス	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	MR同行、在宅患者への医師、看護師、薬剤師との同行など	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	4年次・5年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	4年次・5年次に連続して受講できる。ただし、単位の付与は1回限りとする。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実施期間中ではないが、終了時に、大学から受入先へ電話によるモニタリングを実施している。また、参加学生へは、日報を大学へ提出する際にできる限り聞き取りを実施するようにしている。	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	専門講師による「ビジネス・マナー講座」の受講を必須としている。事前学習として、受入先についての下調べ、企業研究をおこなってから参加するよう指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	受入先を招き、また教職員も参加し「報告会」を開催している。インターンシップを体験したあとの自身の成長や成果を発表し評価している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実施期間中ではないが、終了時に、大学から受入先へ電話によるモニタリングを実施している。また、参加学生へは、日報を大学へ提出する際にできる限り聞き取りを実施するようにしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	①受入先からの「学生評価」を数値とコメント両方で受けている。②教員による「総合評価」を行っている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	①インターンシップ終了後に、受入先からの「学生評価」を提出してもらい、学生へコメント部分のみ開示している。②「総合評価」の結果を、単位認定と同時に学生本人が5段階評価で知ることができるようにしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施日数5日間(うちインターンシップ実施期間3日)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先で最近3日間のインターンシップを行い、あとは、事前学習・報告会の準備・報告会での発表を合わせて5日間のプログラムとしている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	特記事項なし
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.kobepharmaceutical-u.ac.jp/
問い合わせ先	大学等名	神戸薬科大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	078-441-7511
	メールアドレス	shushoku@kobepharmaceutical-u.ac.jp